

ぎかい



2020.4.17

小国町議会だより 第**144**号



小国町へ
嫁いできました。

表紙関連記事は16ページ

主な内容

- 2～3ページ
令和2年度予算決まる!
- 4～7ページ
各課審査報告
- 8～13ページ
一般質問6名登壇

3月定例会 予算審査

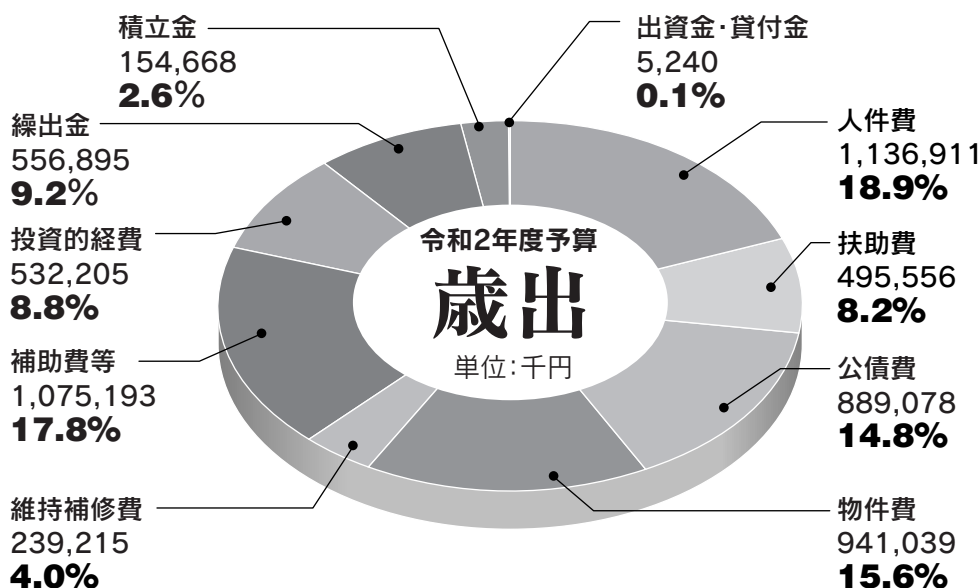
一般会計予算

60億3100万円

前年度比0.3%減

令和2年
3月
定例会

第5次小国町総合計画基本計画を策定し
白い森まるごとブランド構想の実現を目指す



主な事業

町民総合体育館改修事業(継続)	1億4058万円
道の駅機能拡充事業	2407万円
白い森みらい創生事業(継続)	4979万円
ワカモノプロジェクト推進事業	590万円
農業担い手育成事業	662万円
閉校校舎等解体事業 (旧玉川小学校足中分校)	2950万円

会期内容

3月9日から19日
一般質問6名
補正予算7件、新年度予算12件、条例5件、指定管理者の指定1件
予算審査特別委員会 新年度予算12件
本会議最終日に新年度予算を8対1で可決した

条例改正等

●小国町障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例

●小国町印鑑条例

●小国町勤労者住宅設置条例及び小国町営住宅条例の一部を改正する条例

●地方公務員法及び地方自治体の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例

●小国町母子家庭等修学費給付条例

※児童一人につき月額一律2000円が小学生2000円
中学生3000円
高校生等3500円
になりました。

●小国町斎場の指定管理者の指定
合資会社 山佐

令和元年度補正予算の主な内容

一 般 会 計	66億42万3千円 (9247万8千円追加補正)
国民健康保険事業会計	7億1708万3千円 (240万9千円追加補正)
介護保険特別会計	10億7505万7千円 (187万1千円追加補正)

新型コロナウイルス 予防対策進む

補正予算55万円

新型コロナウイルスによるマスク不足に対して町内の縫製事業所が布製マスクを2000枚製造し高齢者施設、保育施設等に配布する。



ふるさと納税額 昨年より大幅に上回る

ふるさと納税の
返礼品ベスト3

- 米沢牛
- 小国の地酒桜川
- 小国産米つや姫



臨時議会

1月29日臨時議会

ふるさと納税

返礼品に対する補正

2373万6千円

2月25日臨時議会

商工業経営安定化

資金緊急利子等補給

27万8千円

道路維持補修作業

2860万円

異常気象に伴う町内経済の停滞を回避するため

3月定例会に おける陳情

山形県立小国高等学校への支援拡充について

小国高校を支援する会会長 安部 昌晴

看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出について

山形県 医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 勇仁

介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出について 山形県 医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 勇仁

盛田議員辞職

定例会最終日に盛田信明議員から辞職願が議長へ提出され、本会議で許可された。

令和2年度 予算審査特別委員会

3月10日から12日
かけ、新年度予算の内
容を各担当課から説明
を受け審査した。主な
質疑は以下の通り。

総務課

Q 令和2年度予算で人件費が前年度比15.2%増額となっている。これは、会計年度任用職員制度が導入され、人件費に給与と社会保険料が含まれるためか。

A 昨年度予算では、日々雇用職員の賃金を物件費と扶助費に計上していた。新年度予算では、これらの経費を会計年度任用職員の給与として人件費に計上し増額となった。なお、社会保険料は人件費には含まれない。

総合政策課

Q 白い森ブランド木工製品制作業務は木工品をどのようにブランド化に結び付け、どこに着地点を見据えているのか。

A 平成30年度から実施している事業だが、三歳児から木育を含め安全安心な地域木材にふれあう機会をつくり、将来的には木工品のブランド化、販売につなげていきたい。

Q 白い森ブランド木工品制作業務について、昨年度が机、今年度が椅子を贈呈しており、単価が10万円となっているが、令和2年度も同様な形になるのか。

A 毎年東北芸工大の学生がデザインしたもの

を選定している。令和2年度も同程度の単価で見込んでいる。

町民税務課

Q 今年度は生ごみの堆肥化事業は行わないのか。

A 今のところ予定はしていないが、今後違ったかたちで実施していきたい。

Q 町営バスのダイヤ改正で、委託料は前年度比どのくらい減ったのか。また、路線バス運行の見直しは、町民の意見を聞いてほしいが、令和2年度はどう見直すのか。

A 公共交通の見直しは地域の代表者を含めた地域公共交通会議に諮ったうえで行っている。町営バスの委託料は前

年度当初予算と比較して約761万円の減額となった。

令和2年度はデマンド路線の見直しを中心に行うとしている。

Q 新ハザードマップを令和2年度に新たに配布する予定とのことだが、変更になった箇所等の周知についてはどのように考えているのか。

A 各地区に説明しながら配布したいと考えている。担当職員を中心に必要に応じて消防職員にも同行してもらい周知したいと考えている。

産業振興課

Q 道の駅に係る取り組みは。

A 機能拡充事業としての道の駅緑地整備、喫煙

ブース整備を行い来客増に結び付ける。

Q 木工館のレーザー加工機は、まったく新しいものにするのか。

A より性能のよいコンパクトなものに更新する予定である。



機能低下した現在の加工機

地域整備課

Q 西勤労者住宅および駐車場の使用料はどれくらい見込んでいるか。

A 現在、西勤労者住宅については78部屋のうち49部屋の利用となっている。駐車場は508区画のうち460区画の利用となっている。

令和2年度は、現在の利用状況を基に勤労者住宅960万円、駐車場1368万円を見込んでいる。

Q 異常気象による水道の水不足が心配されるが対策はされているか。

A 早い段階で対応出来るように準備をしている。きたい。

教育委員会

Q 部活動指導員の人数について、小国小中学校、叶水中学校に一名ずつ配置している。学校ごとで部活動の数や人数についても異なると思

うが、一名ずつで足りるのか、また遠征等についての対応は。

A 働き方改革の部分で部活動の指導に占める時間が多いことから、平日の部活動や休日の町外等での部活動及び大会への随行のほか、先生方が大会役員として依頼を受けた際のフ

また、人数については国及び県の補助事業上の規定から一名相当分の補助金が交付されるが、臨機応変な対応をさせていただきたい。

Q 令和2年度も町民総合体育館改修事業が予算化されているが、いつまでかかるのか。

A 令和2年度予算では、東側屋根と壁面の改修を予定している。

教育委員会では、令和3年度までの3力年

で完了を計画している。

健康福祉課

Q 健康寿命を延ばすためにどのような取り組みを行っているか。

A 運動習慣推進、減塩等食事改善、総合検診や成人病検診等、多岐に渡って取り組み、高齢者の健康増進をはかっている。

Q 灯油購入費助成の手続きに行くのも大変だという声がある。簡素化できるようにしてほしい。

A 非課税世帯が対象となっており、変動もあることから確認のみでの対応が難しい。負担が少ない方法も検討したい。

町立病院

Q 内科の常駐医師体制が減員と聞くがどのようなになるのか。

A 全国的な医師不足の影響から、専門医制度の研修医が減員になり、4名体制が3名体制になる。

老人保健施設

Q 病院、温身の郷の給食が町外業者委託になった。町内からの食材調達はどうようになっているか。

A 「一町内の日」を設け、行事食などで町内産の食材の活用を図る努力をしているが、10%程度となっている。

総括質疑

灯油購入費 助成事業申請の 負担軽減を

渡邊 重信

対象件数の把握は

渡邊 灯油助成件数はどのよう把握しているのか。

健康福祉課長 過去の実績に基づいて推計している。

タクシーを使つての受け取りは、把握しているか

渡邊 灯油購入事業は良い取り組みだが、多くの高齢者がタクシー代をかけて手続きに来ている。把握しているか。

手続き方法をしっかり周知したい

町長 来所が難しい時には他の方、郵送での手続きも可能。周知が足りなかったところもある。徹底していく。

喜ばれる制度
100%執行を望む

渡邊 予算の執行率をしっかりと把握し次の予算に結び付けることが重要。執行率100%を達成して皆さんに喜ばれる予算組をお願いしたい。

令和二年度

施政方針・予算に関する内容について

盛田 信明

透析患者送迎事業について

盛田 当初は小国タク

シーに契約したが、3000万円もの透析患者送迎事業を、現在はアルソックに変更している。町内にお金が回るように町内業者も入れるべきではないか。

町長 安全性を考慮し委託先を変更した。

盛田 透析患者送迎事業は一定の評価をするが、行政の公平性から、透析以外の疾病に範囲を広げるべきだと思うが、町長の見解は。

町長 一つ一つ取りあけるのは難しい。

療食の食材購入について

盛田 従来2000万円から2500万円であった町内業者の食材購入について、新年度の購入金額はどうか。

町長 新年度は380万円を見込んでいる。

地域総合商社設立について

盛田 新年度予算において地域総合商社設立というが、おぐに白い森(株)、いきいき街づくり公社に機能を集約したほうがよいのではないか。

町長 地域総合商社は第三セクターではない。

医療事務外部委託について

盛田 白い森(株)は平成30年度、約280万円の最終赤字である。温水プールや医事業務がなくれば、経営に大きな影響がでてくるのではないか。

町長 第三セクターで多くの利益は必要ないが、マイナスの部分については、改革が必要と考えている。

「いきいき街づくり公社」について

盛田 町長は、地区座談会において、いきいき街づくり公社等の借入金の返済期間が500年だと答えているが、事実か。

町長 経営者の方がそのように話した。

「高齢者向け住宅整備事業」について

盛田 第五次基本計画の中「高齢者向け住宅整備事業」がある。「高齢者住宅用地」として確保していた町有地は売却したが、どのような場所を計画しているか示されたい。

総合政策課長 現在は仕組みの検討をして、土地は次の段階である。

町立病院経営の 改革のための施策と 取り組みを踏まえた 予算組について

伊藤 弘行

伊藤 町長は、病院は経営だけでなく運営が重要と言っているが経営についても安定させていかなければならない。来期の予算の中にどのような施策が反映されているか。

人口減少に改革が追い付かない

町長 全国的に総務省指導で病院改革プランの策定を行い、改革を実施しているが、目標の数値になかなか届かない。
近年の急速な人口減少の中で様々なことを実施しても、赤字が増える状況である。改革プランの内容に

については町民の理解を得られるような場を設けながら進めていく。

危機感を共有しているのか

伊藤 細かなところの節約を通して、危機感を共有してほしい。

危機感の共有はできている

町長 病院は改革プランにのっとって、施策を実施しているのので、理解していると考えている。

病院に限らず、節約の意識は定着している。今後も意識づけは徹底していきたい。

出来ることをしっかりと行なうべき

伊藤 町民が病院のあり方に納得できるように、細部にわたり経営を行っていたきたい。

予算審査特別委員会報告書

本町では、第5次小国町総合計画基本計画を策定し、2年度から基本構想に基づく具体的な施策に取り組まれる。本町のめざす姿を具現化し町民と共有しながら、着実な取り組みを期待する。

次の意見を付して原案のとおり議決するものと決したので報告する。

- 1 「白い森まるごとブランド戦略」の一環として取り組まれてきたふるさと納税に係る予算が大幅に増額となった。引き続き多様な取り組みにより、小国町の認知度向上と魅力づくりに取り組まれ、新たな財源の確保に努められるとともに、森林環境譲与税などの財源を有効に活用し、豊かな町民生活の実現を期待する。
- 2 ブランド構想を推進する中核として「地域総合商社」を設立し運営が開始される計画である。令和2年度を3年計画の最終年とした成果として、関係機関との連携・協働により地域の稼ぐ力が養われ、地域の価値を高めることによる定住人口や関係人口の増加、町内の職の維持、新しい職の創出などにつながる地域経済の循環システムを創り出せるよう商社の取り組みに期待する。
- 3 町立病院については、人口減少や高齢化の影響等を受けた厳しい経営環境を改善するために、より即効性の高い抜本的な改革に取り組むこととされている。令和2年度に病院機能のあり方について検討されるが、計画期間の最終年となる新町立病院改革プランを検証し、関係機関を交えた十分な議論により、将来に向けた町立病院機能の方向性を明らかにされたい。

コロラド州との目的ある 国際交流の展開を

ま みや ひさ え
間宮 尚江 議員



交流だけでなく目的ある展開を望む

間宮 2018年9月にアメリカ合衆国コロラド州を訪問された。

今後は単なる国際交流ではなく、各分野における町づくりに視点をおいた展開を図るべきではないか。

相互交流を深化させる

町長 今年度はゴールデン市の市長が勇退され断念した。来年度は、本町経済の活性化に資する事業として相互交流を一層深化させたい。

また、イースト高校との交流では国際理解教育推進に大きな役割を果たしていると考ええる。DBT柔道会との交流を通し友好交流の深化に努めたい。

来年度は町内若手人材をコロラド州に派遣し、ゴールデン市の関係者

も受け入れる。コロラド州からの受け入れは国際交流団体「青い星と白い森」との連携協力のもとに行いたい。友好都市の締結や市民レベルでの交流が広がる事を期待する。

中高生の留学も視野に

間宮 英語力強化、スポーツ交流も含めた中学生・高校生に短期留学も考えられないか。



Denver Buddhist temple(DBT)

環境整備をして検討したい

町長 本町の白い森学習の支援を含め、環境を調査したうえで検討したい。

本町人材派遣の目的は

間宮 本町人材の派遣では、なにを目的とするものか。

目的は一つではない

町長 訪問メンバーごとに、目的はそれぞれの責任のもとプレゼン等も踏まえ活動してくれると考えている。様々な情報ツールを駆使して貢献していただくものとも期待したい。

経済交流は

間宮 クアーズテック本社のあるゴールデン市との関係は重要では

ないか。

関係強化したい

町長 デンバー市ゴールデン市との関係は太くしたい。本町にとつての高校存続の在り方や経済の在り方では大いに有効になると考え、周りの環境も確認しながら関係構築を太くしていきたい。



クアーズテック(株)本社にて



地域総合戦略の総括と 第五次基本計画への反映 及び推進体制について

こばやし よしみ
小林 嘉 議員

業績評価指標いかして

小林 事務の遂行を定量的に測定する「重要業績評価指標」は基本計画に反映させたか。

計画も指標設定し反映

町長 第一期の総合戦略時点とは、背景となる社会経済環境が大きく変化しているとの認識のもとで「白い森まるとことブランド構想」の実現に必要な施策構築を図った。

基本計画では「目標とする姿」「目標とする指標」を設定し、達成するための重点事項とその内容を体系的に整理した。

町民との協働は

小林 基本構想で「まちづくりを住民と民間と行政の協働や助け合いによって進める」と

している。町民との情報共有、協働はどのようにしていくのか。

協働は、研究機構との共同研究を活かす

町長 行政情報は様々な媒体を通じてわかりやすく提供し、内容の充実を図る。

協働については、「協働のまちづくり担当」を配置して、コミュニティの振興策を支援してきた。多くの地域で地域活動の継続が難しくなる現状を、外部アドバイザーや町職員、集落支援員などを活用し、地域コミュニティを再生していく。

今年度、地方自治研究機構と「集落のコミュニティ機能の維持に向けた新たな環境づくりに関する調査研究」に取り組んでいる。

今後は、この研究成果を生かして、これま

での方法では難しくなっている地域づくりに対処するため、横断的

な政策展開により「協働人口」の拡大を図る。

基本原則

参画

市民等が、市の政策に関する計画、実施、評価、見直しのそれぞれの過程に主体的に参加し、まちづくりを推進します。

協働

市民等、議会、行政は相互理解を深め、信頼関係のもとに、それぞれの役割や特性に応じて、互いに尊重、また補完しあいながら、対等な立場で、それぞれの持つ力を発揮して、まちづくりを推進します。

情報共有

市民等、議会、行政がともに協力してまちづくりを行うために、必要な情報の共有に努め、公正で透明性の高い市政運営を図ります。

目指す「まち」の姿

市民等が主役のまちづくりの実現

総務省資料抜粋

児童の子育て応援としての 児童室の運営について

いとう ひろ ゆき
伊藤 弘行 議員



児童室は重要施設

機能拡充を

伊藤 人口減少、少子高齢社会の中で、子育てを支援していくことは非常に重要である。

児童室の利用推移や保護者の労働時間から、児童室機能の拡充が必要であると考えます。

今後の中央児童室の運営に関しての考え方を伺いたい。

児童室機能の在り方について検討する

町長 小国町中央児童室は昭和44年「力ギっ子対策」として全国に先駆け定員40名でスタートした。

現在は、預かる対象を小学校6年生までとし、今年度から定員80名に増員し預かり時間も午後6時まで延長した。

一日保育日の預かり時間は午前8時30分

らと定めているが、職員は8時前に出勤し8時から預かる体制をとっている。小学生の保護者に対するニーズ調査の結果なども踏まえ中央児童室の機能の在り方について検討していく。

児童室の必要面積は充分か

伊藤 現在の児童室の必要面積は満たしているか。

おぐに保育園長 定員70名から80名となったが、面積の最低基準は満たしている。

一日保育日の始業時間を早めるべき

伊藤 開設当時に比べれば核家族化も進んでいる。

また、近隣の市町は一日保育日の受け入れ

時間は7時または7時半となっている。ニーズを捉えて時間の再考が必要なのでは。

ニーズを捉えて検討をしていく

町長 今回実施している調査の中で検討をし

ていく。

伊藤 子どもは小国の宝であり、切れ目のないサービスをお願いしたい。



ニーズをとらえた運用時間が望まれる

町民のみなさんへ

制度の改善はアンケート調査にきちんと答えることから始まります。皆さんの声を届けましょう！



森林の保全利活用について ～森林を使った産業づくり～

わた なべ しげ のぶ
渡 邊 重 信 議員

小国町の雄大な自然、森林をどう活用しているのか

渡邊 白い森まるごとブランド構想を推進している中で、第5次小国町総合計画基本計画(案)に基づき、どのように森林の整備・保全を行いながらどのような森林活用に取り組んでいくのか伺いたい。

人材育成を含め展開していく

町長 森林環境税と森林環境譲与税を活用し、地域経済へ波及させていくための事業化に向けた取り組みを進めていく。
手入れがされていない民有林の現状把握のための基礎調査を進めている。また「白い森木工館」で、芸工大と「オカムラ」と町の三者で、木材資源の有効活用に

取り組むとともに、高収益林業の民間の取組にも支援し、町有林内に同様のモデルを検討する。

また、森林環境譲与税の目的には、森林整備を促進するための人材育成や担い手の確保も含まれている。



造林が進んでいない民有地

担い手育成が必要では

渡邊 小国町の木材のブランド化と担い手(後継者)育成はどう考えているのか。

町長 森林経営計画の指針に沿って、利活用を進める。



正しい木取りができるのも職人の経験と技

都市部に売り込んで

渡邊 都市への木材の売り込みは行っているのか。

産業振興課長 活用できると考える。

渡邊 町内木材の現在の利活用はどうなっているのか。

産業振興課長 庁舎・学校施設の暖房システム(チップ)に使用している。

町長 町産材(合板)を使ったりフォームへの支援を行っている。

渡邊 ブランドとして売り込む木材がチップ・合板では見えないブランドになってしまふ。

森林環境譲与税を活用し人材も木材も住宅も小国町のブランドとして前面に出し、一人ひとりがわくわくする施策を打ち出して頂きたい。



チップや合板ではもったいない!

町づくりの考え方と 仁科町政4年の施策を問う

もり た のぶ あき
盛田 信明 議員



町長 就任前の次の施策についてどう評価しているか。

盛田 電興診療所廃止に伴う町立病院への統合について。

町長 町民にとって欠かすことの出来ない専門分野である。町が引き継いだという判断は妥当。評価している。

盛田 コバレントマテリアル(株)の資産を取得した件について。

町長 コバレントマテリアルは当時、経営状況が大変厳しく最大の支援策を講じた。

盛田 当時、小国事業所の責任者は仁科町長か。

町長 事業所長という立場にいた。

盛田 透析中止の「検

証会議」の記録がないのは何故か。

町長 会議の取りまとめとして「検証報告書」を作成した。

次の政策は町民中心の政策展開、しがらみのないバランスのとれた施策とは真逆と考える。

盛田 病院長の退職延長の経緯は。

町長 後任人事の要望が叶わなかったため、定年延長の措置を講じ、本年度も延長手続きを行った。

盛田 財務規則では、見積もりを二社以上からとることになっている。病院の給食、透析患者の送迎事業の随意契約は一社単独で多額の金額になる。これは違法性が強いのではないか。

町長 町立病院及び温身の郷の療食業務は、地方自治法の随意契約である。食材の確保などで全国的なネットワークで対応が可能な業者を選定した。

盛田 透析患者送迎事業の外部委託で随意契約した根拠は。

町長 地方自治法の随意契約である。小国タクシーからアルソック山形区に変更した。透析送迎の実績があり専用のコールセンターで24時間365日対応が可能である。

盛田 病院の医事業務の外部委託の方向性については。

町長 特定した業者に打診し、昨年末に受託可能との報告があった。より安定した業者に変更したい。

盛田 「温水プール」を修繕した直後に約一億円かけて解体した理由は。

町長 屋根の一部が損壊する被害が発生したため、被害拡大防止と安全確保の観点から応急修繕した。

盛田 修繕を含む温水プールの支出は、719万円あり、修繕後7カ月で解体した。それぞれ請負った業者は違うのか。

産業振興課長 同じ業者である。



小国町における 森林環境譲与税の活用について

えん どう かず ひこ
遠藤和彦議員

森林環境譲与税の活用は

遠藤 当町の大きな資源である森林経営において森林環境譲与税は貴重な財源である。

森林環境譲与税は、どのような事業に充当できるのか。

森林・林業・山村振興に資する

町長 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律として、平成31年3月に成立・公布された。

「間伐や路網の整備」「森林の集積や集約化」「担い手人材や林業組織の育成」「木材利用や普及啓発に関する事業」など森林・林業・山村振興に資する施策の展開が可能となる。

交付額は

遠藤 森林環境譲与税の交付額はいくらか。

町長 本年度901万8千円、令和2年度から約1900万円、4年度からは約2500万円、6年度から約3千万円の交付があるものと試算している。

本年度の取り組みは

遠藤 本年度はどのような調査や事業計画を考えているのか。

対象地域を選定する

町長 本年度は、対象森林の絞り込みや、林業経営に適した森林の抽出、森林の状況などから管理を必要とする森林の選定等に取り組み、意向調査の対象地域の選定に向けた作業をする。

他県市町との交流で事業の拡大はできないか

遠藤 今年2月21日山形新聞によると、最上町は、東京都板橋区との間で森林環境教育の推進へ覚え書締結とある。小国町でも、グローバルウエーハズ・ジャパン等企業がある新潟県聖籠町との交流は出来ないか。

町長 聖籠町は海辺の

町であり森林が少ないのでいい提案だと考える。

製材業の存続に活用できないか

遠藤 林業振興に合わせ製材業にも活かされるのではないか。

町長 製材業への活用は担当課とも話し合いをしているところであり注視している。



小国町の大きな資源

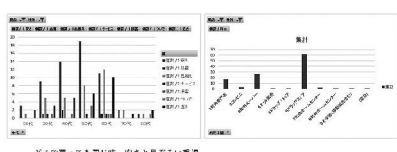
消費者アンケート実施

文教産建常任委員会
が中心となって消費者
アンケートを実施した。

人口減少や車社会、
消費者ニーズの多様化
による町内の商工業の
現状を受け議会として
も現状把握と確かな情
報とデータ収集をして
内容を把握するための
消費者アンケート調査
を実施した。

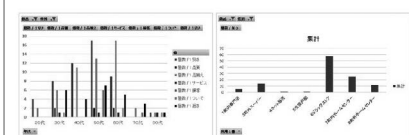
そのデータに基づき、
小国町商工会会長・理
事の方々との意見交換
会を開催し、町内企業
と景気対策について話
し合いを行った。

何を重視・買い物場所 酒ジュース



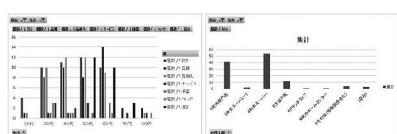
どこで買っても同じ。安さと品揃え重視

何を重視・買い物場所 日用雑貨



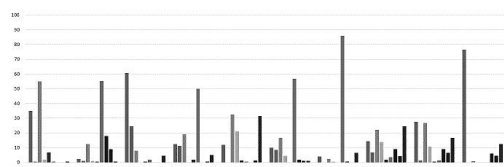
安さと品揃えでドラッグストアへ

何を重視・買い物場所 生鮮食品



安さ、品揃え、出でるも無難
ら6代以上は安さを重視が増える

全体傾向



※1町内コンビニ ※2町内スーパー ※3町外スーパー ※4町外ドラッグストア ※5町内ホームセンター ※6町外ホームセンター ※7町の飲食店(居酒屋)

議会で取りまとめた資料を共有した



商店街に賑わいを

調査情報			
消費動向調査票			
調査日		性別	
月		男女	
時		年代	
I 利用店		II 優先理由	
①町内コンビニ ②町外スーパー ③町外ドラッグストア ④町内ホームセンター ⑤町外ホームセンター ⑥その他		1安さ 2品揃え 3価格 4サービス 5接客 6その他	
No	商品	I 利用店	II 優先理由
①	生鮮食品	最も多く利用する	備考
②	日用雑貨	次に多く利用する	
③	スイーツ (ケーキ類)	最も多く利用する	
④	一般菓子	次に多く利用する	
⑤	衣料品	最も多く利用する	
⑥	酒	次に多く利用する	
⑦	ジュース類	最も多く利用する	
⑧	医薬品	次に多く利用する	
⑨	書籍・文具	最も多く利用する	
⑩	贈答品	次に多く利用する	
⑪	住宅	最も多く利用する	
⑫	リフォーム	次に多く利用する	

ご協力ありがとうございました。

まとめ

買い物の多くは安さと、品揃えを重視して買い物をしている。
車で出かけられない人は町の業者を頼りにしている。
高齢者社会では、買い物弱者が増える。
弱者に近づく。弱者が近づくように仕組む。

強み(小国町だからできること)

- 高齢者社会
- 御用聞き(大企業や県職員町外出身者への提案)
- 対話ができるお馴染みの店
- 地元の新鮮野菜

弱み

- 車社会
- 品揃え
- 安さ

この視点から今後も議論検討提案を行っていく



商工会理事会との消費動向の共有

総務厚生 常任委員会

令和2年1月21日
第13回委員会

- 議会議員と語る会の結果とりまとめ
- 閉会中の所管事務調査について

令和2年2月12日
第14回委員会

- 町保育の状況説明（健康福祉課）
- 議会議員と語る会の結果とりまとめ

令和2年2月20日
第15回委員会

- 小国町障がいがある人もない人も共に生きるまちづくり条例の説明（健康福祉課）

- 小国町母子家庭等修学費給付条例の一部改正の説明（健康福祉課）

- 医療事務の外部委託の経緯と委託先について（町立病院）
- 議会議員と語る会の結果とりまとめ

文教産建 常任委員会

令和元年12月11日
第10回委員会

- 商工業振興について

令和2年1月10日
第11回委員会

- 消費動向調査の集計
- 議会議員と語る会の結果とりまとめ

令和2年1月21日
第12回委員会

- 消費動向調査の結果確認
- 議会議員と語る会の結果とりまとめ

令和2年2月12日
第13回委員会

- 議会議員と語る会の結果とりまとめ
- 所管事務調査
- 町内の消費動向についての協議（産業振興課）

- 小国町商工会との情報交換会の調整

令和2年2月18日
小国町商工会との情報交換会

令和2年2月21日
第14回委員会

- 所管事務調査
- 町道松岡黒沢峠線整

- 備事業の説明（地域整備課）
- 議会議員と語る会の結果とりまとめ

広聴広報 常任委員会

町民と語る会の報告書の発行に向けて協議を行った。

次の方法で報告書を配付・

回覧を行う。

- 出席者あてに配付
- 全町隣組での回覧
- 議会ホームページ掲載

お知らせ

議会だよりが見やすくなりました。
字体・文字数などを工夫しました。
傍聴・インターネット中継と合わせてご覧ください。

報告書

令和元年度
町議会議員と語る会

開催日時	場 所
10月29日（火）午後6時から	旧あさひ保育園
10月30日（水）午後6時から	水源の郷交流館
11月15日（金）午後6時から	玉川コミュニティセンター

小国町議会

議員と語る会の報告書

おらも おぐに町民

町の人からちょっとひとこと 町外から嫁いで来ました!

きて驚いたことは？

理沙さん 地元は長井市ですが、小国町の自然が豊かなこと。主人の実家は玉川なのですが、サルやリスを見つけた時は驚きました。いろんな意味で自然と共存しているのかなと思いました。

間宮 小国町で介護の仕事に就いた思いは？

理沙さん 静岡の短大で介護福祉士を取得しました。その後、長井市で介護の仕事をしていました。小国町の老人保健施設は自宅復帰される方もいらっしゃる施設なので、幅広く介護の学びができる職場として興味を持ちました。

プロフィール
名前(住所) 佐藤 理沙 25歳(北)
就職先 介護老人保健施設 温身の郷
間宮 小国町に嫁いで

間宮 介護の仕事は社会的に重要な仕事ですが、どんな気づきがありますか？

理沙さん 夜勤での体力面は心配なところですが、それよりも認知症対応という学びの場面に会えることで自分も成長できる素晴らしい職種だと思いますね。

間宮 あなたにとって「職場」とはどのような存在ですか？

理沙さん 年齢の近い人や親子ほどの年齢差であっても皆さん優しく接して下さいます。働きやすいですね。

間宮 仕事が楽しいのですね？

理沙さん はい。やりがいがあります。職場の雰囲気良く、信頼し

合っている事で意見が言いやすいので、とても恵まれて仕事ができています。

間宮 ありがとうございます。7月に出産予定とお聞きしました。小国町の宝物となるお子さんとの出会いが楽しみです。お身体を大切に下さいね。



温身の郷スタッフのみなさんと

次は6月定例会です。傍聴においでください。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局(62)2448

編集後記

山々から春の薫りを感じる季節となりました。

山桜の蕾の微かな桜色に心とみえます。

有形無形に関わらず自然の不思議を感じるものです。静寂なる雪原の白さを体感することの少なかった令和元年度の暖冬でした。

いよいよ新年度のスタートです。広がる青空には希望を感じます。巡る季節の彩りが本町に豊かな恵みをもたらしていく事を願っております。

議会も、十人十色の力を結集して皆様に寄り添っていきける賢政を目指し、努力して参ります。 間宮(記)

発行責任者

議長 高野 健人
副議長 小関 和好

委員 伊藤 弘行
委員 渡邊 重信
委員 柴田 伸也

間宮 尚江
小林 嘉